令和3年度　事務事業評価調書

施策名：**持続可能な公共交通ネットワークの構築**　　施策コード：02045

【見直し区分】
①普及啓発　②会議等　③調査業務　④窓口業務等
⑤施設整備・維持等　⑥委託業務　⑦補助事業　⑧その他

【視点(E)(I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進　②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進　④3Rの推進による廃棄物の削減　⑤温室効果ガス吸収源対策
⑥「Smart道庁」の取組の推進による道庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る道内自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し状況(F)(J)(M)】
①　対応済
②　今回見直しを検討
ー　対応が不要

【見直し結果】(S)(T)(U)
見直し状況(F)(J)(M)で②今回見直しを検討」を選択した検討結果
○見直し対応　△検討継続

整理番号	枝番	重複施策	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	令和3年度																												ACTION 結果への対応（令和4年度）					
								前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	執行体制 うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号 (A)	一次政策評価 事務事業方向性 (B)	一次政策評価 理由及び今後の対応 (C)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 計画等位置づけ (D)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 視点 (E)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 見直し状況 (F)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅰ ゼロカーボン 理由 (G)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅱ Society5.0 計画等位置づけ (H)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅱ Society5.0 視点 (I)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅱ Society5.0 見直し状況 (J)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅱ Society5.0 理由 (K)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 該当 (L)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 見直し状況 (M)	一次政策評価 重点点検事業 Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 内容 (N)	一次政策評価 Ⅳ 前年度意見 該当 (O)	一次政策評価 Ⅳ 前年度意見 対応状況 (P)	二次政策評価 意見	次年度方向性 (Q)	次年度対応内容 (R)	重点点検事業 見直し Ⅰ ゼロカーボン (S)	重点点検事業 見直し Ⅱ Society5.0 (T)	重点点検事業 見直し Ⅲ 新型コロナウイルス感染症 (U)	二次政策評価 意見への対応状況
1808		02046	事務	交通企画課総合調整等業務	②	交通政策に関する総合調整、北海道運輸交通審議会の運営に関する事務等	交通企画課	0	0	0	3.0	0.5	3.5	27,335		現状維持	交通政策に関する総合調整、北海道運輸交通審議会の運営する必要がある	ー	④	②	局内の資料共有の際にはペーパーレス化などに配慮が必要	ー	⑥	②	局内の資料共有の際にはペーパーレス化などに配慮が必要	○	②	局内の資料共有の際にはペーパーレス化などに配慮が必要			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	打合せ等にWeb会議を活用することにより、ペーパーレス化、CO2削減、移動時間の削減等を実施しているところであり、引き続き、会議等におけるオンライン活用の取組を進めていく。
1809		02046	一般	交通対策調整費	②	地域交通に係る交通対策を推進するとともに、地域交通の諸課題への対応	交通企画課	47,000	1,379	1,379	2.0	0.3	2.3	19,342		現状維持	地域交通に係る交通対策を推進するとともに、地域交通の諸課題に引き続き対応する必要がある	ー	④	②	相手方の環境次第ではオンラインによる開催も検討できるが、対面での協議の重要性に配慮が必要	ー	⑥	②	相手方の環境次第ではオンラインによる開催も検討できるが、対面での協議の重要性に配慮が必要	○	②	相手方の環境次第ではオンラインによる開催も検討できるが、対面での協議の重要性に配慮が必要			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	打合せ等にWeb会議を活用することにより、ペーパーレス化、CO2削減、移動時間の削減等を実施しているところであり、引き続き、会議等におけるオンライン活用の取組を進めていく。
1810		02046	一般	北海道型MaaS展開事業	②	観光と生活両面におけるMaaS実証実験の成果や課題を全道各地域の関係者間で広く共有し、事業者間の連携を促していくことで、それぞれの地域にあった取組の検討・実施につなげ、全道におけるMaaSの展開を図る	交通企画課	10,593	3,512	3,512	2.0	0.3	2.3	21,475		終了	令和3年度時限到達事業 実証実験の成果や課題を全道各地域の関係者間で広く共有し、事業者間の連携を促していくことで、各地域にあった取組の検討・実施につなげ、全道におけるMaaSの展開を図る必要がある	○	④	②	相手方の環境次第ではオンラインによる開催も検討できるが、対面での協議の重要性に配慮が必要	○	⑥	②	相手方の環境次第ではオンラインによる開催も検討できるが、対面での協議の重要性に配慮が必要	○	②	相手方の環境次第ではオンラインによる開催も検討できるが、対面での協議の重要性に配慮が必要			・ゼロカーボン北海道実現の観点から、地域支援において、地域の脱炭素化と経済の活性化、レジリエンスの向上の同時達成をめざし、地域資源を最大限活用した自立・分散型社会の形成をより一層促進できるよう、事業内容を検討すること。 ・北海道Society5.0を推進し、安全・安心で豊かな生活を送ることができる社会を実現するため、住民の暮らしに欠かせない地域交通の安定的な確保は重要であることから、取組の一層の推進を検討すること。 ・暫定的な職員配置により体制を整備し、事務事業を推進してきたが、一定期間が経過したことなどを踏まえ、効果的・効率的な執行体制の構築を検討すること。 ・会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	終了		○	○	○	・地域の脱炭素化を促進するためには、自家用車利用から公共交通利用への転換を促すことが重要であることから、引き続き、ノーカーデーなど公共交通の利用促進に向けた取組を進める。 ・交通のデジタル化に取り組む地域に対して十勝での知見やノウハウの提供などの支援を行っているところであるが、引き続き、地域の意向を踏まえ、必要な側面支援を実施する。 ・シームレス交通戦略については、官民が連携する「戦略推進会議」が中心となってMaaSの活用や公共交通の利便性を向上させていくこととなるが、北海道交通政策総合審議会の意見も戦略として掲げているため、新たな施策展開に向けた取組を進めていく必要がある。また、戦略の検証期についても、地域のバス事業者を交えた地域MaaSの実施を検討しており、市町村や事業者との円滑な調整と施策展開を進めていくため、専任の職員を配置することで効果的・効率的な執行体制が構築される。 ・打合せ等にWeb会議を活用することにより、ペーパーレス化、CO2削減、移動時間の削減等を実施しているところであり、引き続き、会議等におけるオンライン活用の取組を進めている。
1811		02046	一般	地域公共交通計画策定支援事業	③	地域公共交通活性化再生法に基づく広域の法定計画を策定するため、策定主体である道及び複数市町村を構成員に含む法定協議会への負担金を拠出する	交通企画課	0	12,477	12,477	3.0	0.6	3.6	40,593		現状維持	地域公共交通活性化再生法に基づく広域の法定計画を策定する必要がある	ー	④	①	法定協議会への負担金 計画策定に向けた調査等においては電子媒体を活用して実施しており、引き続き、ペーパーレス化に配慮していく	ー	⑥	①	法定協議会への負担金 計画策定に向けた調査等においては電子媒体を活用して実施しており、引き続き、ペーパーレス化に配慮していく	○	①	相手方の環境次第ではオンラインによる開催も検討できるが、対面での協議の重要性に配慮が必要			暫定的な職員配置により体制を整備し、事務事業を推進してきたが、一定期間が経過したことなどを踏まえ、効果的・効率的な執行体制の構築を検討すること。	現状維持					地域公共交通活性化再生法の改正に伴い、地方公共団体は「地域公共交通計画」の策定が努力義務化されたところであり、各地域の実情や社会情勢の変化を踏まえ、交通体系の最適化を図る観点のもと、広域的な計画の策定が必要であり、引き続き、各地域での計画策定に向けた取組を推進するため、専任の職員を配置することで効果的・効率的な執行体制が構築された。
1812		02046	一般	バス運行対策・利用促進費	⑦	乗合バス事業及び廃止代替バス事業の路線維持（運行）費に対し、国・市町村と協調して補助を実施	交通企画課	0	1,463,890	1,463,890	1.0	0.6	1.6	1,476,386		現状維持	路線維持（運行）費に対し、国・市町村と協調した補助のため	○	③	①	車両補助の採択要件の1つとして環境へ配慮した車両の導入が含まれている	ー	ー	ー		ー	ー					現状維持					
1813		02046	一般	地域交通支援事業	②	乗合バス利用者減少に伴い、路線維持が困難となった路線の輸送手段転換を促進するため、転換に要する経費等の一部を支援し、地域の公共交通を安定的に確保する	交通企画課	0	7,114	7,114	1.0	0.3	1.3	17,267		現状維持	路線維持が困難となった路線の転換に要する経費等の一部を支援し、地域の公共交通を安定的に確保するための補助であるため	ー	④	②	外部との打合せなどの際は、オンラインによる打合せに努めるとともに、補助事業者等に対しても同様の取組を指令通知等で求めることを検討する	ー	⑥⑦	②	外部との打合せなどの際は、オンラインによる打合せに努めるとともに、補助事業者等に対しても同様の取組を指令通知等で求めることを検討する	○	②	外部との打合せなどの際は、オンラインによる打合せに努めるとともに、補助事業者等に対しても同様の取組を指令通知等で求めることを検討する			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	打合せ等にWeb会議を活用することにより、ペーパーレス化、CO2削減、移動時間の削減等を実施しているところであり、引き続き、会議等におけるオンライン活用の取組を進めていく。
1814		02046	義務費	運輸事業振興費（運輸事業振興助成交付金）	②	軽油取引税の税率に関する特別措置による税率引き上げに伴い営業用バス及びトラックの輸送コストに与える影響などを考慮し設けられた制度に基づく対象事業者に対する交付金	交通企画課	0	914,578	914,578	1.0	0.0	1.0	922,388		現状維持	軽油引取税の税率に関する特別措置による税率引き上げに伴い営業用バス及びトラックの輸送コストに与える影響などを考慮し設けられた制度に基づく交付金のため	ー	④	②	外部との打合せなどの際は、オンラインによる打合せに努めるとともに、補助事業者等に対しても同様の取組を指令通知等で求めることを検討する	ー	⑥⑦	②	外部との打合せなどの際は、オンラインによる打合せに努めるとともに、補助事業者等に対しても同様の取組を指令通知等で求めることを検討する	○	②	外部との打合せなどの際は、オンラインによる打合せに努めるとともに、補助事業者等に対しても同様の取組を指令通知等で求めることを検討する			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	打合せ等にWeb会議を活用することにより、ペーパーレス化、CO2削減、移動時間の削減等を実施しているところであり、引き続き、会議等におけるオンライン活用の取組を進めていく。
1815		02046	一般	道南いさりび鉄道経営安定化事業費補助金	②	道南いさりび鉄道（株）の経営安定化を図るため、道及び沿線市町において運行赤字分を補助	交通企画課	0	60,200	60,200	1.0	0.3	1.3	70,353		現状維持	道南いさりび鉄道（株）の経営安定化を図るための欠損補助のため	ー	④	②	外部との打合せなどの際は、オンラインによる打合せに努めるとともに、補助事業者等に対しても同様の取組を指令通知等で求めることを検討する	ー	⑥⑦	②	外部との打合せなどの際は、オンラインによる打合せに努めるとともに、補助事業者等に対しても同様の取組を指令通知等で求めることを検討する	○	②	外部との打合せなどの際は、オンラインによる打合せに努めるとともに、補助事業者等に対しても同様の取組を指令通知等で求めることを検討する			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	打合せ等にWeb会議を活用することにより、ペーパーレス化、CO2削減、移動時間の削減等を実施しているところであり、引き続き、会議等におけるオンライン活用の取組を進めていく。
1816		02046	一般	定期航路維持対策費	②	離島住民の生活に必要不可欠となる離島航路の維持を目的とした離島航路旅客定期航路事業者に対する助成	交通企画課	0	58,897	58,897	1.0	0.3	1.3	69,050		現状維持	航路維持に係る市町村と協調した欠損補助のため	ー	④	②	外部との打合せなどの際は、オンラインによる打合せに努めるとともに、補助事業者等に対しても同様の取組を指令通知等で求めることを検討する	ー	⑥⑦	②	外部との打合せなどの際は、オンラインによる打合せに努めるとともに、補助事業者等に対しても同様の取組を指令通知等で求めることを検討する	○	②	外部との打合せなどの際は、オンラインによる打合せに努めるとともに、補助事業者等に対しても同様の取組を指令通知等で求めることを検討する			会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維持		○	○	○	打合せ等にWeb会議を活用することにより、ペーパーレス化、CO2削減、移動時間の削減等を実施しているところであり、引き続き、会議等におけるオンライン活用の取組を進めていく。
計								57,593	2,522,047	2,522,047	15.0	3.2	18.2																								

■令和４年度　新規事業

域内連携型シームレス交通推進事業